

【令和5年度実施】瀬戸市職員採用試験＜新卒・第二新卒採用(事務職)＞ 合格者の声

No.	合格者の声
1	<p>私はもともと困っている誰かにできることをするということが好きで、社会に関する様々な分野についても興味を持っていました。そこで、より多くの視点からたくさんの人の手助けができる公務員になりたいと考えました。中でも私が生まれ育ち、家族や友人が暮らしている瀬戸市に恩返しをしたいという気持ちが芽生え、瀬戸市を受験しました。</p> <p>公務員といわれると堅いイメージがあるかと思いますが、試験のときから職員の方々が優しく接して下さり自分の魅力をしっかり伝えることができたと思います。試験を受けるときは気負いすぎず、自分をしっかり表現して魅力を存分に伝えてください！</p>
2	<p>私は幼い頃から地元である瀬戸市の伝統や文化に触れ、ヒトやモノが織りなしてきた瀬戸市の良さを広める一員になりたいと思い志望しました。試験は人物重視のため、自分の強みや自分らしさは何か、それらをどのように表現できるか最大限に準備しました。また試験を通して瀬戸市への愛を自分なりに精一杯伝えたので、合格の通知をいただいたときは想いが伝わったと感じ、心の底から嬉しかったです。</p> <p>受験生の皆様にとって大変な時期ではあると思いますが、一つひとつを悔いの残らないよう頑張ってください。</p>
3	<p>私が瀬戸市役所を受験した理由は地域に貢献できる存在になりたいと考えたからです。高校生の頃から漠然と公務員になりたいと考えるようになり、大学生になって就職活動を行う中で「瀬戸市役所の雰囲気が一番自分に合っている」と思い瀬戸市役所を受験しました。もともと縁がある土地ということもあり、より瀬戸市のために貢献したいと思ったこともきっかけの一つです。民間企業よりも長く就職活動が続くことで体力的にも精神的にも辛いと感じることがあるかと思いますが、悔いがないよう全力を出し切ってください。応援しています。</p>
4	<p>私は瀬戸市で生まれ瀬戸市で育ちました。当時住んでいたときから、とても住みやすい町であると感じていました。近年は将棋の藤井八冠の活躍により認知度が全国的に飛躍しましたが、特に私は瀬戸市が積み重ねて守ってきた歴史や自然にとっても魅力を感じています。</p> <p>試験全体を通じては、一人一人の人物像というものに重点が置かれていたように感じました。そのため、自分が瀬戸について調べて感じたことや自分の熱意や思いを自分自身の言葉で余す事なく伝えることを、ぜひ試験に臨む際には大切にして欲しいと思います。面接官の方もまるで一対一で会話するように親身に受験生の言葉を聞いてくれます。</p>
5	<p>私は瀬戸市の歴史や文化、地域住民の温かさに触れながら成長しました。そのため、愛する地元「瀬戸」に恩返しがしたいという気持ちから受験を決意しました。大学一年次より、本格的に試験勉強を開始し、自己分析にも取り組んできましたが、合格した今感じるのは「目標に対し、どのようなプロセスを経るかが大切である」ということです。例え結果が同じでも、結果に至るまでのプロセス次第でその後どのように成長するかにも大きく影響します。瀬戸市の受験を検討している方々も是非、「プロセス」を意識して日々を過ごしてみてください。</p>
6	<p>私が瀬戸市を受験した理由は、好きなまちのために働きたいと思ったからです。地域とのつながりを大切にしていること、歴史や伝統に魅力を感じ、そのような魅力をより多くの方に伝えたいと思うようになりました。試験では、和やかな雰囲気でリラックスして臨むことができました。合格した今、瀬戸市で働けることを楽しみながら、責任ある仕事であるため身の引き締まる思いです。受験生の皆さんも緊張することもあるかと思いますが、みなさんが感じている瀬戸への熱い想いを伝えれば、きっと面接官にも届くと思います。応援しています。</p>

【令和5年度実施】瀬戸市職員採用試験＜新卒・第二新卒採用(事務職)＞ 合格者の声

No.	合格者の声
7	<p>私は瀬戸市の魅力を街で活躍する「人」だと考えていまして、街の活性化には「人」は必要不可欠であるため、その「人」のバックアップを通し、瀬戸市を盛り上げていく一端を担いたいとの思いから公務員、そして瀬戸市職員を志望しました。試験を通して感じたことは、面接官の方々が、言葉遣いや入室時の作法だけでなく、瀬戸市への愛や瀬戸市職員になりたい想いをよく見てくださった印象があります。緊張で伝えたいことを上手く表現できなくても、瀬戸市職員になりたいという思いを一心に伝えようとする事は忘れないでください。応援しています！</p>
8	<p>今まで生活してきた瀬戸市のインターンシップに参加したことがきっかけで、インターンシップを通してこれからの瀬戸をつくっていきたいと考えて志望しました。試験は瀬戸のことを知ろうとし、瀬戸で働きたいという意志や姿勢が重要視されていると感じました。インターンシップを通して瀬戸市役所の仕事のイメージが具体的になり、職員の方々の雰囲気もつかむことができたため、受験を迷っている段階でもインターンシップは参加しておくべきだと思います。</p>
9	<p>瀬戸市に住む市民の方がもっと瀬戸の街を好きになってほしい、住み続けたいと思ってほしいと考え、そのような街づくりの力になりたいという思いが公務員を目指すきっかけとなりました。試験は長期戦で心が折れそうになったこともありましたが、合格した先で求められる必要な試練だと思い、ポジティブな気持ちで頑張ることができました。精一杯自分の持てる力を出し切って試験に取り組みれば、自ずと結果はついてくると思います。最後まで自分を信じて頑張ってください。</p>
10	<p>市外の学校に通うようになってから瀬戸市の魅力に気付かされ、地元を活気づける力になりたいと思い、大学の公務員講座を受けていたのもあり志望しました。試験を通して一度も大学名などの学歴を言う機会がなかったのもあり、自分の人柄など中身をしっかりとフィルターを通さずに見極めてもらっていると感じました。公務員は周りの企業志望の子に比べて採用過程が進むのや決定が遅く、焦ったり不安になったり物凄く落ち込むと思うけれども、程よい遊びや息抜きを大切に諦めずに自分らしくやりきってください！</p>
11	<p>元々、瀬戸市は私の地元で22年間ずっと暮らしてきたため、まちに対して愛着がありました。そのまちのために自分ができることをしたい、それを仕事として取り組みたいと感じこの瀬戸市を受験しました。面接が計2回あり、喋るのが苦手な私は不安でしたが何度も大学のキャリアセンターに相談に行き、自分でもビデオを撮りながら繰り返し練習しました。そのおかげで緊張することなく試験を受けられました。試験を通して分からないことは誰かに聞くことの大切さを知り、苦手なことでも繰り返し取り組んで克服する経験を得られました。</p>
12	<p>瀬戸市は歴史や文化が豊かで、その魅力を生かしたイベントを通じて地域の皆様が日常を楽しみながら文化と交流する機会が豊富な魅力ある地域だと感じています。瀬戸市の活気ある地域の方々の生活に密接に関わりながら人々の生活をより豊かにしたいと思い受験をしました。本番はとても緊張しましたが、職員の皆さんが温かい雰囲気を作って下さり、自信を持って面接を終えることができました。瀬戸市で働きたい!!という気持ちを自分の言葉で伝えたら面接官の人にも気持ちが伝わると思います。応援しています！</p>